

<p>【イベント名】 第2回 インドネシア小児心臓外科 ICU カンファレンス</p>	<p>【概要】 前回に引き続き、肺動脈絞扼術をテーマとし、ハラパンキタ心臓センターより2症例が提示された。1例目は、生後6か月のTGA, VSDであり、感染と心室中隔欠損が肉柱部型で多発性であったため肺動脈絞扼術が選択された。2例目は6歳の単心室+肺高血圧症例であった。2例とも今回が初回手術であった。2症例の提示後に予定していた岡山大からの報告：「肺循環への再生医療の試み」は演者の都合がつかず次回へ持ち越しとなった。</p>
<p>【期日】 2020.02.07</p>	
<p>【会場】 ハラパンキタ国立心臓血管センター (インドネシア), 九州大学病院 (日本), 兵庫県立こども病院 (日本), 川崎医科大学 (日本)</p>	



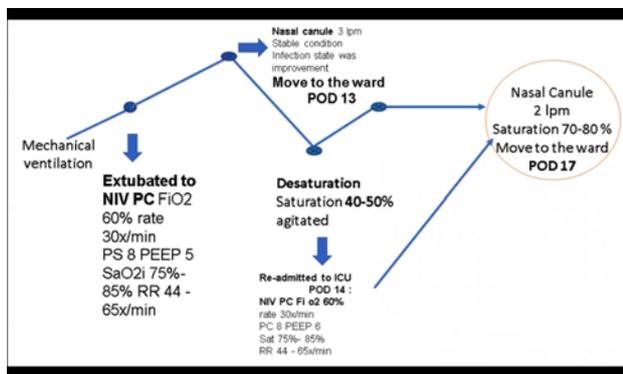
ハラパンキタ国立心臓血管センターの様子。

撮影場所：九州大学病院



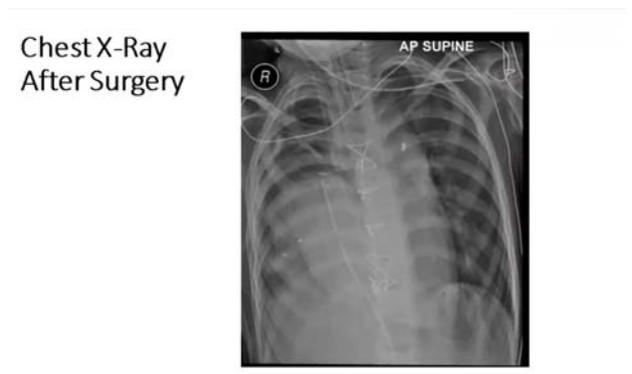
モニタに映し出される接続施設。

撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院



九州大学病院から参加するDr.麻生。

撮影場所：九州大学病院



川崎医科大学の様子。

撮影場所：九州大学病院